令和５年度　項目別温室効果ガス（CO2）排出量（指定管理者施設を含む）

	平成25年度 使用量	令和4年度 使用量	令和5年度 使用量	平成25年度比 （令和5年） 増　減	令和5年 排出係数	平成25年度排出量 （t-CO2）	令和4年度排出量 （t-CO2）	令和5年度排出量 （t-CO2）	②令和5年度/平成25年度 （%）	目標削減率 （令和5年度） 24.7%減
ガソリン	76,562 ㍑	60,262 ㍑	58,414 ㍑	▲18,148 ㍑	2.312	178	140	136	▲23.7	4.9%減/年
灯油	400,289 ㍑	330,531 ㍑	298,568 ㍑	▲101,720 ㍑	2.489	997	823	743	▲25.4	
軽油	8,782 ㍑	10,530 ㍑	12,111 ㍑	3,329 ㍑	2.580	23	27	31	37.9	
A重油	66,169 ㍑	72,930 ㍑	73,820 ㍑	7,651 ㍑	2.71	179	198	200	11.6	
LPG	44,307 kg	55,509 kg	57,288 kg	12,981 kg	2.977	133	167	172	29.3	
電気	14,369,567 kWh	15,390,683 kWh	15,166,092 kwh	796,525Kwh	詳細は※参照	10,605	7,532	7,735	▲27.1	

※CO2排出係数　電気基礎排出係数（中国電力0.537、エネサーブ0.258、関西電力0.360、Looop 0.164、グリムスパワー0.463、U-POWER0.585）

総排出量	12,114	8,886	9,017	▲25.6

温室効果ガス（CO2）の増減内容

令和５年度は、井原市役所地球温暖化対策推進実行計画の最終年であり、総排出量は基準年と比べると25.6%減少し、目標を達成することが出来た。達成が出来た主な要因として、電気の排出係数が低減されていることの効果が大きく影響している。使用量の内訳について、基準年の25年度と比較するとガソリン、灯油については使用が減少している。ガソリンについては公用車の更新により低燃費車が導入されたことで使用量が減少しており、灯油については設備を更新し別の熱源機器を導入したことによるものだと考えられる。軽油、A重油、LPG、電気については増加している。基準年以降供用開始された施設や基準年以降に指定管理施設が対象となったことが主な原因である。基準年度から排出量を削減できている理由が排出係数の減少であり、実際の使用量を下げていくため更に省エネ活動を実施していく必要がある。

個別取組の数値に係る分析

ガソリン	昨年度に比べ減少している（▲3.1%）。基準年に比べ減少している。
灯油	昨年度に比べ減少している（▲9.7%）。基準年に比べ減少している。
軽油	昨年度に比べ増加している（15.0%）。基準年に比べ増加している。
A重油	昨年度に比べ増加している（1.2%）。基準年に比べ増加している。
LPG	昨年度に比べ増加している（3.2%）。基準年に比べ増加している。
電気	昨年度に比べ減少している（▲1.5%）。基準年に比べ増加している。